

令和8年（2026年）2月

総務委員協議会資料

市駅周辺まち活性化部

案件名

・枚方市駅周辺再整備における 天野川の活用に向けた取組について

1. 政策等の背景・目的及び効果

枚方市駅周辺再整備では、新たに整備を進める都市機能と既存の様々な地域資源を有機的につなぐことなどにより、歩いて楽しいウォーカブルなまちづくりを目指しており、その一環として、天野川については、これまでに③街区の再開発事業にあわせ、河川管理者である大阪府や地域団体などと連携し、景観整備などに取り組んできました。

本年度からは、かわまちづくり支援制度の活用も見据えて、地元の自治会や天野川で様々な活動をされている地域団体、天野川に隣接する事業者など（P.3《ワークショップ参加団体一覧》参照）で構成する「天野川の活用に向けたワークショップ」（以下、「ワークショップ」という。）を大阪府とともに開催するなどの取組を進めています。

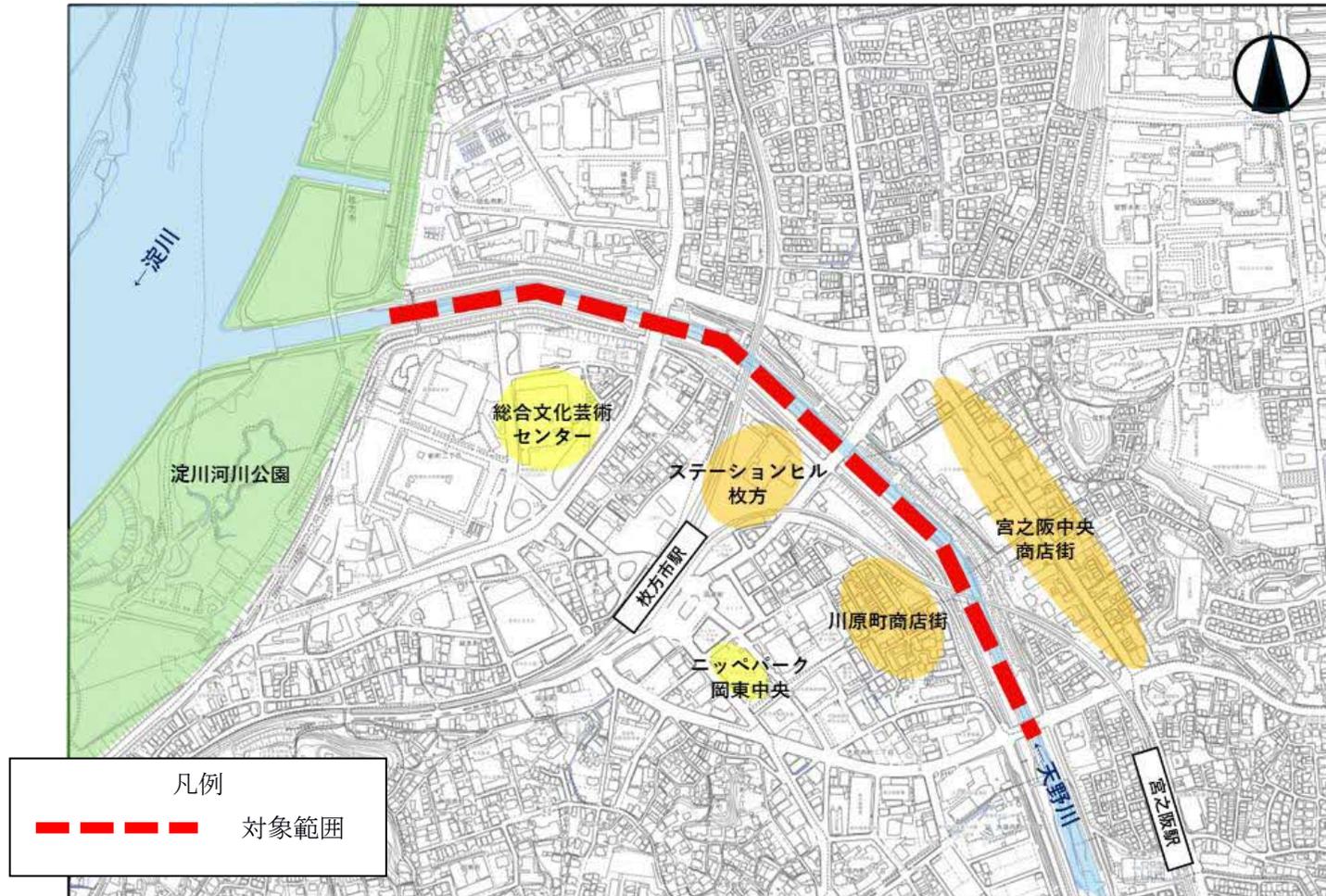
今般、ワークショップの進捗状況や今後のスケジュールなどをご報告するものです。

2. 内容

(1) ワークショップで検討する範囲と参加団体

《対象とする範囲》

ワークショップでは、禁野橋付近から淀川河口付近までを対象とします。



※今後、対象範囲が変更となる可能性があります。

《ワークショップ参加団体一覧》

分野	団体名
<p>地元</p> <p>当該区間の天野川に面する自治会</p> <p>※磯島校区コミュニティ協議会については、天の川クリーン&ウォークに協議会として取り組まれているため、自治会ではなく、協議会として参加</p>	新町区自治会
	岡東自治町内会
	川原町自治会
	大垣内町内会
	磯島校区コミュニティ協議会※
	西禁野一区町内会
	宮之阪東協議会
	宮之阪1丁目自治会
<p>地域団体</p> <p>対象範囲において天野川を活用した催しの中心的な役割を担われている団体、並びに環境活動に取り組まれている団体</p>	天の川を清流にする会
	NALC「天の川クラブ」
	枚方いきもの調査会
	枚方ローズライオンズクラブ
	特定非営利活動法人ひらかた環境ネットワーク会議
	一般社団法人こどもゆめのほしプロジェクト
	一般社団法人くらわんか観光マネジメント
<p>事業者</p> <p>対象範囲の天野川に隣接する主な事業者</p>	枚方 LOOP 実行委員会（事務局：京阪ホールディングス株式会社）
	川原町商店会
	宮之阪中央商店街振興組合
<p>行政（事務局）</p>	大阪府 枚方土木事務所
	枚方市

(2) 第1回ワークショップについて

《概要》

日 時	令和7年11月15日 土曜日 13:00～15:00
場 所	ステーションヒル枚方 北河内府民センター 会議室
参加者	27名
内 容	◎座学 枚方市駅周辺再整備の取組、天野川の歴史・現在の活用状況、 河川の一般的なルール、河川活用の規制緩和の制度等について ◎テーブルワーク 班に分かれて、天野川の「魅力」や「課題」について意見交換

各班から出た天野川の魅力・課題については、次ページの《主な意見一覧》のとおりです。



ワークショップ中の様子

《主な意見一覧》

◎天野川の魅力

- ・ 駅からのアクセスが良く、ネームバリューがある
- ・ 桜並木が多く、景観価値が高い自然景観を有している
- ・ 桜並木や堤防に散歩道があり、歩きながら季節感を感じることができる
- ・ 水面が近く散歩に適した環境
- ・ 自然が豊かで、水質が良好なことから、野鳥や昆虫が多い
- ・ 川幅、流れが適度で水質が良く、浅い水深で安全
- ・ 夕日や七夕スポットなど、イベント資源が豊富
- ・ 花見、七夕、ジャズなど、歴史があり季節ごとのイベントがある
- ・ 四季の表情があり、静かで住民に愛されている

◎天野川の課題

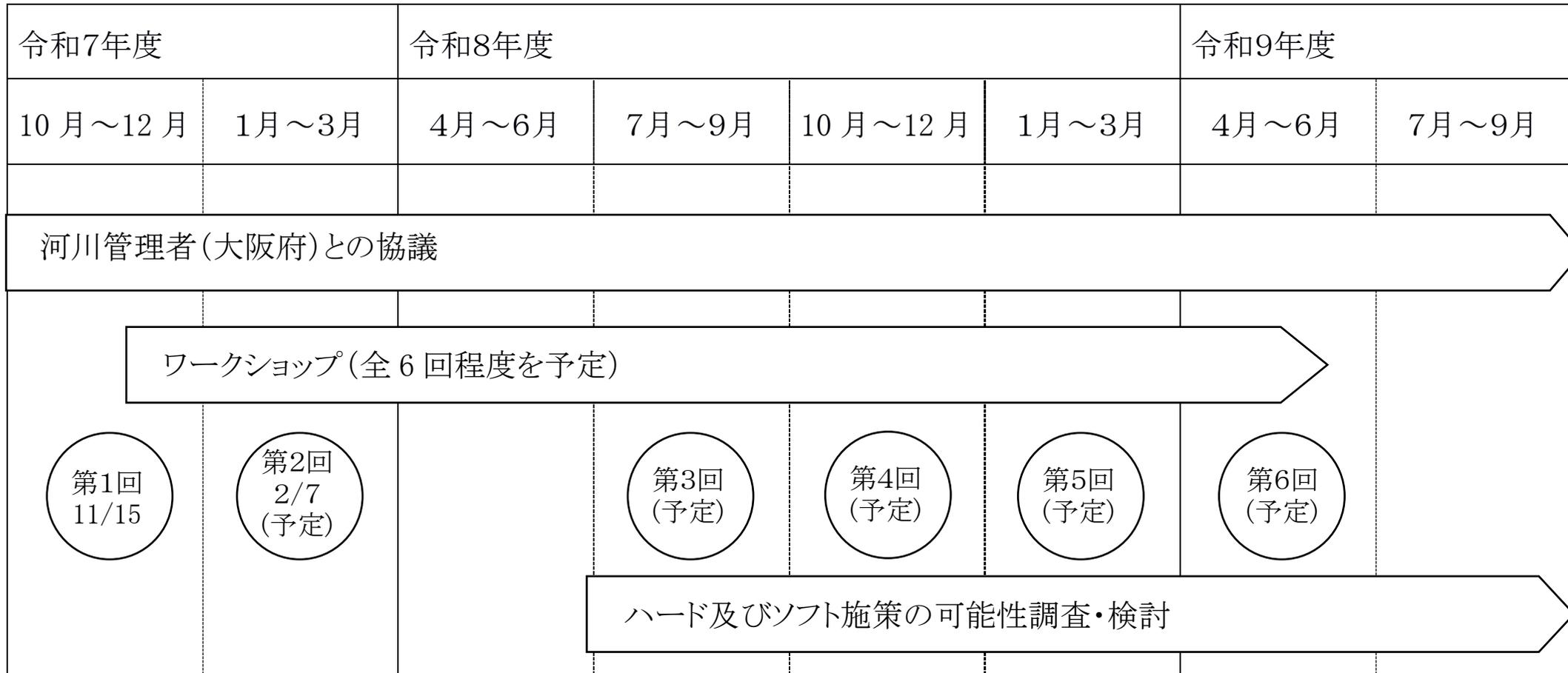
- ・ 雑草が多く、見通しが悪い箇所がある
- ・ ゴミが多く、景観や利用環境に課題がある
- ・ 土砂や流木が堆積しており、礫や石が少ない状況となっている
- ・ 左岸側で川縁に降りられない所があり、河川敷に遊歩道がないため連続性がない
- ・ 整備はされているが、川に近づきにくく活用しにくい
- ・ 河川敷の歩行空間が中途半端で、雨の後は土の道が歩きにくい
- ・ 川遊びや憩いの場がない
- ・ 照明がなく夜間が暗いため、防犯上に不安がある
- ・ 外来生物が存在している

(3) 今後のスケジュールなどについて

ワークショップについては令和9年6月頃までに、全6回程度を予定しています。あわせて、ワークショップにおけるアイデアなどを踏まえて、ハード及びソフト施策の可能性調査や検討に取り組みます。

引き続き、河川管理者である大阪府と連携し、かわまちづくり支援制度の活用も視野に入れ、天野川のさらなる活用に向けた取組を進めていきます。

《今後のスケジュール（案）》



《ワークショップの各回テーマ（案）》

	第1回	第2回
テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ○天野川の歴史、活用状況の共有 ○河川のルールや規制緩和制度の共有 ○天野川の「課題」と「魅力」の意見交換 <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○人が集まる場所や行ってみたいと思う場所 ○についての意見交換 <p style="text-align: right;">など</p>
	第3回、第4回、第5回	第6回
テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ○第2回を踏まえて、第1回で抽出した「課題」の解決や「魅力」を高めるためのアイデア出し ○深掘りするアイデアの選定 ○選定したアイデアを実現するための課題整理と課題解決に向けた意見交換 <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ワークショップの成果発表 <p style="text-align: right;">など</p>

※ワークショップの進捗状況に応じて内容変更の可能性があります。

3. 事業費・財源及びコスト

今後、ワークショップの企画運営、可能性調査検討を進めるために、令和8年度の当初予算、並びに令和9年度の債務負担行為として、枚方市駅周辺エリアマネジメント検討等事業費の計上を予定しています。

《事業費》

	令和8年度	債務負担行為設定
枚方市駅周辺エリアマネジメント検討等事業費	6,400千円	10,400千円 (令和9年度)
合計	6,400千円	10,400千円

《財 源》

	令和8年度	令和9年度
基金等	6,400千円	10,400千円
起債		
一般財源		
合計	6,400千円	10,400千円

4. 総合計画等における根拠・位置付け



① 総合計画

【重点的に進める施策】 人々が交流し、賑わいのあるまちをつくる

【基本目標】 地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち

【施策目標18】 人々が集い賑わい、魅力あふれる中心市街地のあるまち

【施策目標19】 地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち

② 枚方市都市計画マスタープラン

【南西部地域の都市づくりの方針】

- ・ 枚方市駅周辺における広域都市圏を対象とした都市機能を集積する広域中心拠点の形成
- ・ 枚方市駅周辺再整備の実現に向けた取り組みの推進

③ 枚方市駅周辺再整備ビジョン

【基本コンセプト】 ～再発進 ひらかた 人が主役のゆとりと賑わいのまちへ～